

Discussion
on the Group's
GOVERNANCE

We have a strong will to

KEEP CHAN- GING

ourselves to raise enterprise value sustainably

I 社外取締役に関く

岩永取締役は、コーポレート・ガバナンスに関する考えや社外取締役としての自身の役割等を聞きました。



セガサミーホールディングス株式会社
社外取締役

岩永 裕二

ビルズベリー・ウィンスロップ・ショー・
ビットマン法律事務所 パートナー

Q1 社外取締役としての基本的なスタンスを聞かせてください。

すべてのステークホルダーの利益を考慮した意思決定を促しています。

機関決定が、正しいプロセスを踏んで行われているかという形式的な面をチェックするのはもちろんですが、株主を筆頭とするすべてのステークホルダーの利益を考慮に入れた上で決議がなされているかどうかをチェックすることも重要な責務だと考えています。特に後者は、社外取締役だからこそ、客観的な立場で判断できると考えています。

企業は株主、経営陣、従業員、取引先やお客様、そして社会といったそれぞれのステークホルダーと利益を分け合いますが、すべてのステークホルダーの利益を等しく満たすのは現実的ではありません。例えば、短期的なリターンを追求する株主と、長期持続的なリターンを求める株主では、双方の投資目的に同時に応えることは困難であるケースがほとんどです。私は、議案が上程されてきた際には、一部のステークホルダーの利益だけでなく、様々な人々の利害の対立が緩和されているかどうかを目配っています。あるステークホルダーの視点が欠落していると感じた場合には、その旨指摘した上でさらなる議論を促しています。

Q2 ご自身の専門性をどのように活かしていますか？

弁護士としての知見を活かした提言を行っています。

セガサミーホールディングス(株)では、夏野取締役と私の2名の社外取締役が選任されています。夏野取締役は、経営戦略やエンタテインメント業界に関して大変豊富な知見を有するため、その分野で専門的な意見を経営陣に投げかけています。一方の私は、弁護士という立場から、コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンス、CSR(企業の社会的責任)を中心に自身の経験を活かして指摘しています。申し合わせているわけではありませんが、2名の社外取締役が、「攻め」と「守り」といったそれぞれの得意領域で役割分担が上手くできていると感じています。

セガサミーグループでは、定期的にグループ企業のオペレーションに関する内部監査を実施していますが、関連法制や社会的要請と照らし合わせながら、相当細かいチェックが実施されています。一方、セガサミーグループには、子会社90社、関連会社を含めると100社を超えるグループ企業があり、規模が大きな会社とは異なり、小規模の企業には必ずしも内部統制・コンプライアンスの専門組織が設置されているわけではありません。そうしたグループに占める収益規模が小さい企業であっても、内部統制に関わる問題が発生すれば、グループ全体の企業価値の毀損をもたらしかねません。そのため取締役会では、すべてのグループ会社への指導の適切な実施と、改善状況のモニタリング結果の定期的な報告を継続・強化するよう要請しています。

Q3 社会・環境への配慮に関する考えを聞かせてください。

エンタテインメントは社会に大きな価値を提供できます。

企業が持続的に企業価値を維持・向上していくためには、社会・環境課題への取り組みが不可欠であるという意見については、私は全く同感です。企業は社会に認められなければ、存続を許されません。

程度の差こそあれ、企業は事業活動を通じて社会や環境に負荷をかけています。そうした負荷を低減していくことは最低限必要なことですが、例えばコミュニティ活動などのいわゆるフィランソフィー活動も、社会的存在である企業として行うべきだと考えています。

また、本業でも社会に価値を提供していくことができます。エンタテインメントは、人々が明日の活力を得ることができる大きな力を持っていると思います。特にストレスが多い現代社会では、これまで以上にその役割は大きくなっていくのではないのでしょうか。セガサミーグループは、本業を通じて世の中に貢献しているという強い誇りを持つべきだと考えています。

Q4 是正が叫ばれている短期志向についての考えを聞かせてください。

長期ビジョンへの支持を得るためには重い説明責任が伴います。

企業経営における短期志向は、私がアメリカの外資系企業に勤務していた時から問題視されてきました。毎期の計画を達成することだけが評価の基準で、達成できないと解雇されるという世界であったため、長期的な視座に立った取り組みや投資はできないという不満が蔓延していました。当時はまだ長期的な経営が許容される風土があった日本でも、近年はこの問題が議論されているわけですが、企業の価値を1年程度で評価することは難しいと考えています。配当やキャピタルゲイン等の短期的な利益を求め株主の皆様にとっては、ご不満かもしれませんが、投資の成果を生み出すまでの期間を考慮すると、少なくとも2～3年程度は状況を見守っていただきたいという場面は当然あると思います。ただし、損失を出し続けることが許されるはずはありません。また、長期ビジョンを株主の皆様にご支持いただくためには、重い説明責任が必然的に伴うことも認識する必要があります。

長期戦略という点では、セガサミーグループは、IR（統合型リゾート）の事業化に向けた挑戦を進めています。まだ法的枠組みが整備されていない段階ではありますが、ルールが出来上がってから参入しようとしても厳しい戦いになるでしょう。将来の見通しが不鮮明だから何もしないという企業は、淘汰されるしかないと思います。そうした意味では、将来のあるべき姿に向けて「攻め」の経営を貫いている現在の姿勢は、支持したいと思います。存続にかかわるような大きなリスクを取っている訳ではなく、状況が変化した際には柔軟に対応できる戦略的オプションも用意しながら、慎重に進めていると評価しています。



コーポレート・ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンス体制一覧表

形態	監査役設置会社
形態採用の理由	激しく変化する市場環境の中では、業界・市場動向・製品・商品・サービス等に関する知識や経験に富んだ取締役が迅速かつ最適な経営判断を導き出すという考えに基づく
取締役の人数	9名
うち社外取締役の人数	2名
取締役の任期	1年
取締役へのインセンティブ付与	ストックオプション制度の導入
取締役報酬の個別開示	報酬総額が1億円以上の役員のみ開示
監査役的人数	4名
うち社外監査役の人数	3名
独立役員的人数	5名(社外取締役2名、社外監査役3名)
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
監査契約期間	1年ごとの更新
執行役員制度の採用	有

基本的な考え方

当社及び当グループは、コーポレート・ガバナンスを企業行動の最も重要な基盤として位置付けています。当社は、企業経営の「効率性の向上」「健全性の確保」「透明性の向上」を「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」として掲げ、取締役候補者の選任、取締役報酬の決定、経営の監視、監査報酬の決定等、経営の重要な問題をこの方針に従い判断しています。

効率性の向上

迅速かつ適正な意思決定プロセスの確立及び企業経営の効率性を向上させることで企業価値の最大化を目指し、株主をはじめとするステークホルダーに対して、その利益の還元に努めていきます。

健全性の確保

激しく変化する事業環境の中、企業価値の最大化を図るため、当社を取り巻く様々なリスクを適切に認識・管理するとともに、法令を含む倫理・社会規範等及びその背後にある社会的価値やその変化を捉え、的確に対処する体制（コンプライアンス体制）を確立することで経営の健全性の確保を図っていきます。

透明性の向上

企業に対して情報開示の重要性が高まる中、当社は、株主をはじめとするステークホルダーに対して説明責任を果たすとともに、積極的なIR活動を行うことでディスクロージャーをさらに充実させ、経営の透明性の向上を図っていきます。

また、当社及び当グループは、CSR活動を当グループの持続的価値創造とステークホルダーの持続的発展の双方を実現するための行動として

捉え、企業市民として社会の広範な要請に応えるため、当グループのCSR活動に関し連絡・調整を行う機関としてグループCSR連絡会議を、また専門部署としてグループCSR推進室をそれぞれ設置しています。そして、CSR活動の基礎となる「グループ経営理念」「グループCSR憲章」「グループ行動規範」及び「グループ・マネジメントポリシー(方針)」を制定するとともに、個別の業務を直接規律する各種社内規程やマニュアル等を改定・整備し、ステークホルダーとの良好な関係を構築するため、グループ全体で自主的かつ積極的にCSR活動を展開しています。

運営・管理体制

当社及び当グループは、激しく変化する経営環境の中で、業界・市場動向・製品・商品・サービス等に関する知識や経験等に富んだ取締役が迅速かつ最適な経営判断を導き出すと考え、監査役設置会社形態を採用し、併せて、社外取締役の選任、執行役員制度と内部監査体制の強化等を行い、運営と管理の両面からコーポレート・ガバナンス体制を充実させています。

取締役会は、原則として毎月1度の定時取締役会並びに適宜開催する臨時取締役会において、現在9名の取締役に機動的経営を図っています。なお、各事業会社における一定の経営上の重要事項等については、当社の取締役会等の機関においても決議・報告を行っています。

監査役会は、原則として毎月1度の定時監査役会並びに適宜開催する臨時監査役会において、現在4名の監査役により議論を行い、具体的問題について十分に分析検討しています。

グループ間での情報共有、議論・検証、連携並びに、当社取締役会への報告・上程等を目的として、「任意設置委員会」「連絡会議」「グループ監査役連絡会」「ホールディングス監査連絡会」「監査役内部監査室連絡会」を設置しています。

また、スピーディーな経営意思決定、業務執行の監督強化、業務執行機能の強化を目的として、執行役員制度を導入しています。

社外役員（社外取締役・社外監査役）

当社取締役9名のうち、2名は社外取締役です。また、監査役4名のうち、3名は社外監査役です。社外取締役、社外監査役とも出席する各会議体において、各々の豊富な経験、高度の専門知識等に基づく指摘・助言を行っています。東京証券取引所が定める独立性基準を充たす社外取締役・社外監査役全員を独立役員に選任する方針を採用し、現任の社外役員全員を独立役員として指定しています。

選任方針

社外取締役ににつきましては、社外取締役の持つ高い見識と幅広い経験に基づき、外部的視点から、当社及び当グループの企業価値をどのように高めるかを助言する機能に加え、取締役の業務執行に対する監督機能を期待し、経営者、弁護士等から選任しています。

社外監査役は、監査体制の中立性・独立性の向上という、コーポレート・ガバナンス体制の実現において重要な役割を担っているものと理解し、中立的・客観的な視点から監査を行うことにより経営の健全性を確保することを期待し、様々な分野に関する豊富な知識、経験を有する者から選任しています。

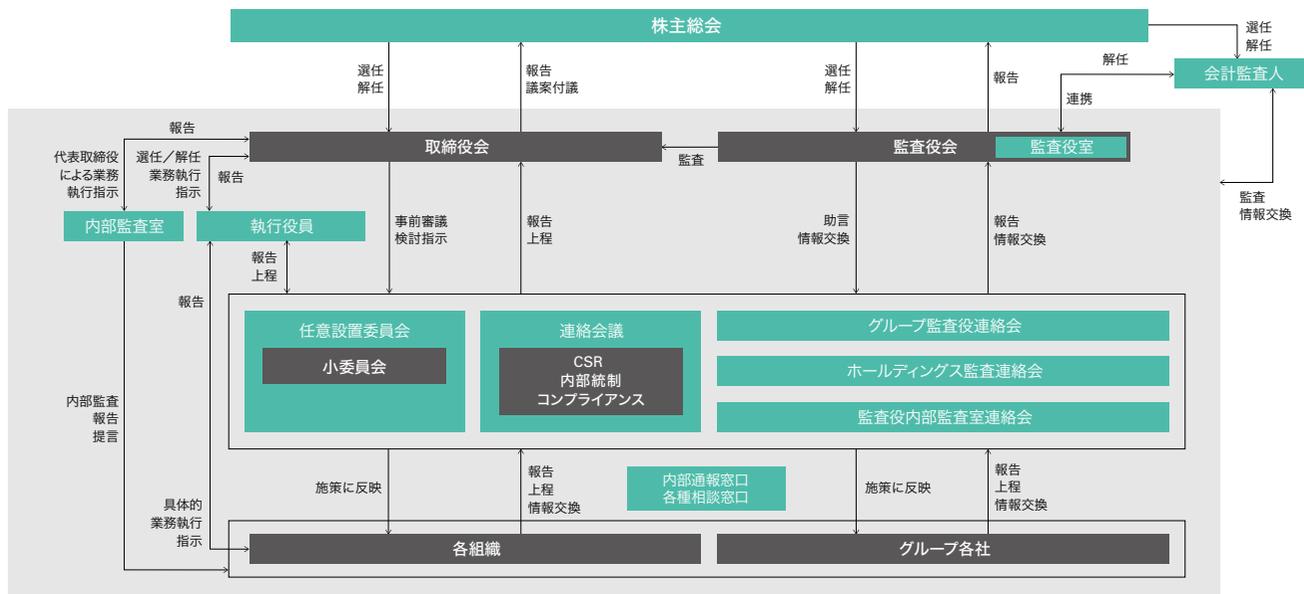
社外取締役	選任の理由
岩永 裕二	国際弁護士としての専門的見地並びにグローバル企業の経営に関する高い見識を当社の経営に反映するため。
夏野 剛	経営者としての豊富な経験と幅広い見識を当社の経営に反映するため。
社外監査役	選任の理由
嘉指 富雄	豊富な実務並びに監査役としての経験・知識を当社の監査に反映するため。
平川 壽男	豊富な実務並びに監査役としての経験・知識を当社の監査に反映するため。
榎本 峰夫	弁護士としての専門的見地並びに経営に関する高い見識を当社の監査に反映するため。

独立性に関する考え方

社外取締役及び社外監査役の独立性については、東京証券取引所が定める独立性基準を基礎とし、「主要な」「多額の」等については、公表されている独立役員選任基準モデル等を参照して判断することとし、当該基準を充たした者は一般株主と利益相反が生ずるおそれがないと判断しています。当社は、上記開示加重要件非該当の社外取締役・社外監査役全員を独立役員に選任する方針を採用し、現任の社外役員全員を独立役員として指定しています。

コーポレート・ガバナンス体制についての模式図

2015年6月27日現在



サポート体制

社外取締役へのサポート体制につきましては、取締役会における議案等の内容を事前に充分検討できるよう、事務局による適正な情報伝達体制を構築しています。社外監査役へのサポート体制につきましては、監査役会に直属する組織として監査役室を設け、監査役室所属スタッフが監査役の指揮・命令のもと監査役の職務を補助しています。なお、監査役室所属スタッフの任命・異動・評価等に関する事項については、監査役会の事前の同意を必要とし、取締役からの独立性を確保しています。また、社外監査役が出席する会議体における議案等の内容を事前に充分検討できるよう、各会議体事務局、監査役室、内部監査担当部門及び内部統制担当部門等による適正な情報伝達体制を構築しています。

役員報酬

取締役の報酬等については、株主総会で決議された報酬限度額^{*1}の範囲内で、取締役会の決議により委任された代表取締役が、他の担当取締役と協議の上、個々の取締役の職責及び実績等を勘案し決定することとしています。また、企業価値の一層の増大を図るため、株主と株価を意識した経営を推進すること、また当社の業績向上に対する意欲や士気を高揚させることを目的として、職務執行の対価として、ストックオプションとして新株予約権を付与しています。

監査役の報酬等については、株主総会で決議された報酬限度額^{*2}の範囲内で、個々の監査役の職責に応じ、監査役の協議によって決定することとしています。

^{*1} 取締役の報酬限度額は、2012年6月開催の定時株主総会において1,000百万円と決議されています。

^{*2} 監査役の報酬限度額は、2004年6月開催のサミー株式会社定時株主総会及び株式会社セガ定時株主総会において50百万円と決議されています。

内部統制

当社は、グループ内部統制プロジェクトを2006年3月期に立ち上げ、企業集団として金融商品取引法に定められた「財務報告に係る内部統制の評価及び監査」制度（いわゆる日本版SOX法）が求める内部統制システムの評価・報告の仕組みを整備し、また評価によって発見した不備の改善を進めてきました。この結果、財務報告の信頼性確保への取り組みが定着しています。2015年3月期における当グループの財務報告に係る内部統制は有効であると判断するに至っています。今後につきましても、財務報告の信頼性を継続的に確保するとともに、効率性の向上と健全性の確保も視野に入れ、内部統制システムの維持と構築に取り組んでいきます。

また、会社法に基づき、内部統制システムの整備に関する基本方針を決定し、その整備に努めています。

(詳しくは「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」

<http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/corp/pdf/governance/governance.pdf> をご参照ください。)

会計監査

当社は、会社法及び金融商品取引法に基づく会計監査を有限責任 あずさ監査法人に依頼しています。同監査法人及び同監査法人の業務執行社員と当社との間には特別な利害関係はありません。また、監査年数が7年を超える業務執行社員はいません。また、期末監査に限らず、決算期中の会計処理などについても会計監査的な観点からのアドバイスを適時受けています。

コンプライアンス

当グループは、「グループ行動規範」「グループ・マネジメントポリシー」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを意識し、適切な行動を可能とするために様々な取り組みを行っています。また、経営の内外に潜在する重要な損失リスクを洗い出し、対処すべき課題を明確化して、会社の事業遂行、経営資源の損失低減、再発防止に取り組んでいます。

コンプライアンス推進体制

当グループは、グループ全体での取り組みを一層強化するために2010年3月期に立ち上げた「グループ・コンプライアンス連絡会議」のもと、法令や社会規範に則って健全な企業経営を展開するための社内体制を構築しています。

また、2010年3月期に立ち上げた「コンプライアンス推進運動」を継続して実施し、業務の適正を確保するための「内部通報制度の全面改定の周知」など、グループ全体での取り組み及び展開を図っています。

グループ行動規範等の周知徹底

当グループでは、グループ全従業員がCSR憲章を理解し、その精神に基づいた行動を実践するための行動・業務指針を「グループ行動規範」「グループ・マネジメントポリシー」に示し、企業倫理・法令遵守を徹底しています。

「グループ行動規範」は、その浸透・定着が重要であることから、「グループ経営理念」や「グループCSR憲章」と合わせて掲載したCSRの手引きを配布しているほか、「グループ・マネジメントポリシー」を含めイントラネットにもすべての内容を掲示しています。

内部通報制度

「グループCSR憲章」の精神に則って、グループ内・社内での自浄機能を活用させ、また法令違反ないし不正行為等による不祥事の発生を防止するため、内部通報に関する制度を制定しています。グループ各社及び社外の法律事務所に通報窓口を設置するとともに、通報事項に関する事実関係の調査、是正措置、再発防止策の実施、通報者の保護制度の整備を行っています。

内部通報は不正発見の第一の手段として重要性が高まっており、同制度の実効性の向上に取り組み、従業員にとって利用しやすく、信頼に足る制度として全面改定しています。

知的財産に関する基本方針

当グループは知的財産を、企業競争力を高めるための重要な要素、かつ企業経営を支える重要な経営資源と位置付け、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。

セガグループでは知的財産推進委員を置くほか、各プロジェクトの現場責任者や担当者を対象として広く知財意識の啓蒙・普及活動を行っています。これにより、第三者の知的財産権を侵害することがないように努めるとともに、自社の知的財産権を適切に管理し、事業の保護・拡大を図っています。また、セガブランドの維持・向上のために、模倣品対策等も実施しています。

サミー(株)では、研究開発のフェーズごとに技術調査等を実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。また、知財研修の開催や社内イントラネットにおける知的財産にかかわる様々な情報掲載により、社員の意識啓発に努めています。

株主・投資家との対話

当社は「IRポリシー」で定めた情報公開に関する方針に基づき、情報取扱責任者であるグループ代表室管掌取締役のもと、専任部署であるグループ代表室IR部が、金融商品取引法、その他法令及び東京証券取引所が定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」に沿って、情報開示を行っています。また、法定開示、適時開示規則に該当

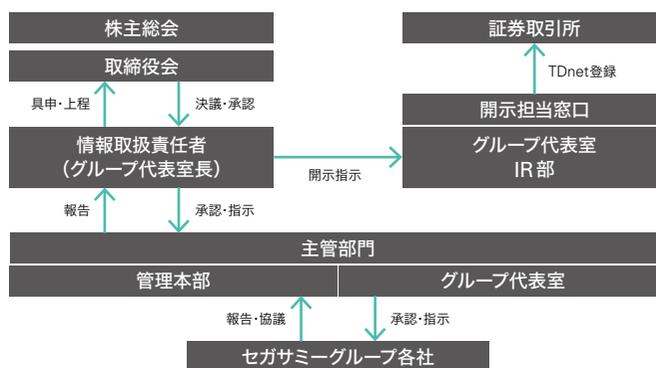
しない任意開示情報についても、投資家の皆様の投資判断に大きな影響を与えうる情報については、積極的に情報開示を行っています。

機関投資家やアナリストの皆様には、本決算及び第2四半期決算において、決算説明会を開催し、当日の様子はインターネットでも配信しています。海外投資家に対しては、アジア、欧州、米国等で適宜ロードショーを実施しています。また証券会社が主催するカンファレンスに代表取締役、IR担当者が参加しています。

IRサイトでは個人投資家の皆様に当グループを分かりやすくご説明する情報を掲載するほか、各種IR制作物の充実等、事業活動をより深くご理解いただくための取り組みを継続的にを行っています。

株主・投資家の皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望を経営にフィードバックすることにより、経営の客観性の向上に努めています。

適時開示に対する社内体制



2015年3月期の主な活動と報酬

取締役会	出席状況	主な意思決定
取締役会の開催回数	16回	2014年5月～ グループ構造改革を策定・実施
社外取締役		2014年8月 フェニックスリゾート(株)における中期投資計画を発表
岩永 裕二	16回中15回出席(うち定時取締役会12回中11回出席)	2014年11月 「パラダイスシティ」の着工
夏野 剛	16回中16回出席(うち定時取締役会12回中12回出席)	2015年2月 1,000万株の自己株式を取得 (取得金額200億円(上限))
社外取締役の出席率	96.9%	
社外監査役		
嘉指 富雄	16回中16回出席(うち定時取締役会12回中12回出席)	
平川 壽男	16回中16回出席(うち定時取締役会12回中12回出席)	
榎本 峰夫	16回中14回出席(うち定時取締役会12回中11回出席)	
社外監査役の出席率	95.8%	

役員報酬

2015年3月期の取締役及び監査役の報酬の内容は以下の通りです。

役員区分	対象となる役員の数(人)	報酬等の総額(百万円)	報酬等の種類別の総額(百万円)			
			基本報酬	賞与	ストックオプション	
取締役	社内	7	543	413	125	5
	社外	2	32	32	—	—
監査役	社内	—	—	—	—	—
	社外	2	25	25	—	—

2015年3月期の連結報酬等の総額が1億円以上である者の報酬は以下の通りです。

氏名	役員区分	連結報酬等の総額(百万円)	会社区分	連結報酬等の種類別の額(百万円)		
				基本報酬	賞与	ストックオプション
里見 治	取締役	477	当社	276	50	1
			サミー(株)	—	150	—

2015年3月期の主なIR活動

決算説明会	2回
四半期決算説明会(電話会議)	2回
スモールミーティング	4回
個別ミーティング(国内投資家)	187回
個別ミーティング(海外投資家)	123回
海外ロードショー	5回(北米1回、アジア2回、欧州2回)
カンファレンス	6回
個人投資家イベント	1回

企業価値

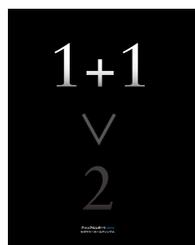
	2014年3月31日	2015年3月31日	変化率
セガサミー株(終値:円)	2,312	1,754	-24.1%
TOPIX(終値:ポイント)	1,202.89	1,543.11	+28.3%
配当総額	9,723百万円	9,690百万円	
配当性向	64.1%	130.9%	

主なIR受賞実績

2014年度日経アニュアルレポート

アワード 優秀賞受賞

(2015年2月)



「2014年インターネットIR表彰・

優秀賞」受賞

大和インベスター・リレーションズ

株式会社(2014年11月20日)



その他

当社は、「JPX日経インデックス400」

の構成銘柄に選定されています。

(2015年8月31日現在)

取締役、監査役及び執行役員

2015年6月17日現在

取締役



里見 治
代表取締役会長兼社長

1980年 サミー工業(株)(現サミー(株))代表取締役社長
2003年 (株)サミーネットワークス取締役会長
2004年 (株)セガ(現(株)セガゲームス)代表取締役会長
サミー(株)代表取締役会長CEO
(株)セガ代表取締役会長兼CEO
当社代表取締役会長兼社長(現任)
2005年 (株)セガトイズ取締役会長
(株)トムス・エンタテインメント取締役会長
2007年 (株)セガ代表取締役社長CEO兼COO
2008年 同社代表取締役会長CEO
2012年 フェニックスリゾート(株)社外取締役
サミー(株)取締役会長
フェニックスリゾート(株)取締役
同社取締役会長(現任)
(株)セガネットワークス(現(株)セガゲームス)取締役
2013年 サミー(株)代表取締役会長CEO(現任)
2015年 (株)セガホールディングス代表取締役会長CEO(現任)



鶴見 尚也
代表取締役専務

1992年 (株)セガ・エンタープライゼス(現(株)セガゲームス)
入社
2005年 Sega Publishing Europe Ltd. CEO
2006年 Sega Holdings U.S.A., Inc. CEO 兼 President
Sega of America, Inc. Chairman
2008年 (株)セガ(現(株)セガゲームス)取締役
2009年 同社常務取締役
Sega Europe Ltd. Chairman
2012年 (株)セガ代表取締役社長COO
Sega Holdings Europe Ltd. CEO 兼 President
当社取締役
2013年 (株)セガドリム(現(株)アトラス)代表取締役社長
(株)セガ取締役副会長
2014年 当社代表取締役専務 事業開発室、戦略企画室、
関連事業部管掌(現任)
フェニックスリゾート(株)取締役副会長(現任)
2015年 (株)セガホールディングス 取締役副会長(現任)
(株)セガ・ライブクリエイション 代表取締役会長兼社長
(現任)



深澤 恒一
取締役

2003年 サミー(株)入社
同社執行役員 社長室長
2004年 当社執行役員 社長室長
(株)セガ(現(株)セガゲームス)執行役員 会長・
社長室長
2005年 同社取締役 会長・社長室長
2007年 セガサミーアセット・マネジメント(株)(現マーザ・
アニメーションプラネット(株))代表取締役社長
当社 上席執行役員 政策・渉外担当
2008年 (株)セガ取締役 新規事業本部長
2009年 セガサミービジュアル・エンタテインメント(株)
(現マーザ・アニメーションプラネット(株))
代表取締役社長
2012年 サミー(株)取締役 社長室管掌
2014年 (株)セガトイズ代表取締役専務
2015年 同社取締役(現任)
当社取締役(現任)



里見 治紀
取締役

2004年 サミー(株)入社
2005年 (株)セガ(現(株)セガゲームス)入社
2009年 Sega of America, Inc.
Vice President of Digital Business
2011年 同社 Senior Vice President of Digital Business
(株)サミーネットワークス取締役
2012年 同社代表取締役社長CEO(現任)
(株)セガ取締役
当社取締役(現任)
(株)セガネットワークス(現(株)セガゲームス)
代表取締役社長CEO
2014年 サミー(株)取締役(現任)
(株)セガ代表取締役副社長
2015年 (株)セガホールディングス代表取締役副社長(現任)
(株)セガゲームス代表取締役社長CEO(現任)
Sega of America, Inc. Chairman(現任)
Sega Europe Ltd. Chairman(現任)



青木 茂
取締役

2005年 (株)セガ(現(株)セガゲームス)入社 上席参事
同社執行役員 中国・アジア事業推進室長
2006年 世嘉(中国)网络科技有限公司 董事長
2008年 サミー(株)執行役員 経営管理本部長
同社執行役員 コーポレート本部長
2009年 同社取締役 コーポレート本部長
2011年 同社常務取締役 コーポレート本部長
2012年 同社代表取締役社長COO(現任)
2013年 当社取締役(現任)

取締役、監査役及び執行役員

取締役



岡村 秀樹
取締役

1987年 (株)セガ・エンタープライゼス(現(株)セガゲームス) 入社
1997年 同社取締役 コンシューマ事業本部副本部長 兼サターン事業部長
2000年 同社取締役 ドリームキャスト事業部門担当
2002年 (株)デジキューブ代表取締役副社長
2003年 (株)セガ(現(株)セガゲームス)専務執行役員 コンシューマ事業本部長
2004年 (株)トムス・エンタテインメント取締役 (株)セガ常務取締役 コンシューマ事業本部長 当社取締役
2007年 (株)セガ取締役

2008年 (株)トムス・エンタテインメント代表取締役社長
2014年 同社取締役副会長 (株)セガ代表取締役社長COO 当社取締役(現任)
2015年 (株)セガホールディングス代表取締役社長COO(現任) (株)セガゲームス取締役会長(現任) (株)セガ・インタラクティブ取締役会長(現任) (株)トムス・エンタテインメント代表取締役会長(現任) (株)セガトイズ代表取締役会長(現任) マーザ・アニメーションプラネット(株) 代表取締役会長(現任) (株)インテックス代表取締役会長(現任) (株)ダーツライブ代表取締役会長(現任)



小口 久雄
取締役兼CCO (Chief Creative Officer)

1984年 (株)セガ・エンタープライゼス(現(株)セガゲームス) 入社
2003年 (株)セガ(現(株)セガゲームス)代表取締役社長
2004年 同社代表取締役社長兼最高執行責任者 当社取締役副会長
2005年 Sega Holdings Europe Ltd. CEO
2006年 Sega Holdings U.S.A., Inc. Chairman
2007年 (株)セガ代表取締役副社長
2008年 同社代表取締役、同社取締役、 サミー(株)取締役、(株)セガ取締役CCO、 当社取締役兼CCO(現任)、サミー(株)取締役CCO
2009年 サミー(株)専務取締役
2011年 同社代表取締役専務 (株)ディー・バイ・エル・クリエイション取締役(現任)
2012年 サミー(株)代表取締役副社長
2013年 セガサミークリエイション(株)代表取締役社長(現任)

社外取締役



岩永 裕二*1
社外取締役

1981年 弁護士登録
1984年 リリック・マクホース・アンド・チャールズ法律事務所(現ビルズベリー・ウィンスロップ・ショー・ビットマン法律事務所)パートナー(現任) カリフォルニア州弁護士登録
2003年 Manufacturers Bank 社外取締役
2005年 JMS North America Corporation 社外取締役(現任)
2006年 太陽誘電(株)社外取締役(現任)
2007年 当社社外取締役(現任)



夏野 剛*1
社外取締役

2005年 エヌ・ティ・ティ移動通信網(株) (現(株)NTTドコモ)執行役員 マルチメディアサービス部長
2008年 当社社外取締役(現任) ぴあ(株)取締役(現任) トランスコスモス(株)社外取締役(現任) SBIホールディングス(株)取締役 (株)ダウンゴ取締役(現任) エヌ・ティ・ティレゾナント(株)取締役(現任)
2009年 (株)ディー・エル・イー社外取締役(現任) グリー(株)社外取締役(現任)

2010年 ビットワレット(株)(現 楽天Edy(株))社外取締役 (株)U-NEXT社外取締役(現任)
2011年 (株)CUUSOO SYSTEM社外取締役
2013年 慶應義塾大学 環境情報学部 客員教授 トレンダーズ(株)社外取締役 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科特別招聘教授(現任)
2014年 (株)KADOKAWA・DWANGO取締役(現任)

監査役



嘉指 富雄 *2
常勤監査役

- 1990年 コスモ証券(株) 取締役
- 1996年 同社常務取締役
- 1999年 コスモ投信投資顧問(株) 常務取締役
- 2005年 (株) サミーネットワークス常勤監査役
- 2008年 当社補欠監査役
- 2009年 (株) サミーネットワークス監査役
(株) セガトイズ監査役
当社常勤監査役(現任)
- 2012年 (株) セガネットワークス(現(株) セガゲームス) 監査役
- 2015年 (株) セガ・ライブクリエイション監査役(現任)



阪上 行人
監査役

- 2003年 サミー(株) 入社 監査室長
- 2004年 同社管理本部法務部長
- 2006年 当社監査役室長
- 2014年 (株) セガ(現(株) セガゲームス) 常勤監査役
当社監査役(現任)
- 2015年 (株) セガホールディングス常勤監査役(現任)
(株) セガゲームス監査役(現任)
(株) セガ・インタラクティブ監査役(現任)
(株) トムス・エンタテインメント監査役(現任)
マーザ・アニメーションプラネット(株) 監査役(現任)



平川 壽男 *2
監査役

- 1994年 丸三証券(株) 取締役
- 1996年 同社常務取締役
- 2001年 丸三ファイナンス(株) 代表取締役社長
- 2004年 サミー(株) 常勤監査役(現任)
当社監査役(現任)
- 2005年 (株) トムス・エンタテインメント監査役
- 2015年 セガサマークリエイション(株) 監査役(現任)



榎本 峰夫 *2
監査役

- 1978年 弁護士登録
- 2000年 榎本峰夫法律事務所開設(現在)
- 2004年 (株) サミーネットワークス監査役
(株) セガ(現(株) セガゲームス) 監査役
- 2005年 当社補欠監査役
- 2006年 日本工営(株) 監査役(現任)
- 2007年 当社監査役(現任)
- 2014年 (株) シモジマ監査役(現任)
- 2015年 (株) セガホールディングス監査役(現任)
(株) セガゲームス監査役
(株) セガ・インタラクティブ監査役

執行役員



中原 徹
上席執行役員



松永 裕文
上席執行役員



上田 晃一郎
執行役員



石倉 博
執行役員



菊地 誠一郎
執行役員



高橋 公一
執行役員



大脇 洋一
執行役員



秋庭 孝俊
執行役員

*1 会社法第2条第15号に定める社外取締役
*2 会社法第2条第16号に定める社外監査役